

財政状況等一覧表（平成20年度決算）

(単位:百万円)

団体名 おおい町

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額 C	標準財政規模 A+B+C
4,162	1,180	194	5,537

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	10,916	10,248	668	459	-	5,049	
一般会計等	10,916	10,248	668	459		5,049	

「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除（純計）したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
老人医療事業特別会計	89	86	3	3	-	-	-	
後期高齢者医療事業特別会計	90	90	1	1	28	-	-	
国民健康保険事業特別会計	758	758	-	-	65	9	1	
国民健康保険診療事業特別会計	166	152	14	14	13	56	-	
介護保険事業特別会計	644	624	20	20	129	-	-	
介護サービス事業特別会計	11	11	-	-	10	-	-	
簡易水道事業特別会計	512	512	-	-	216	1,044	895	
農業集落排水事業特別会計	482	482	-	-	386	1,342	1,199	
特定環境保全公共下水道事業特別会計	160	160	-	-	133	993	913	
公営企業会計等 計				38		3,444	3,008	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(-)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
福井県市町総合事務組合(事業会計分)	187	135	52	52	-	-	-	
福井県市町総合事務組合(普通会計分)	5,428	5,414	14	14	970	-	-	
公立小浜病院組合	7,531	8,628	1,098	1,314	-	14,208	295	
若狭消防組合	1,790	1,775	15	15	5	265	57	
福井県自治会館組合	130	125	5	5	-	-	-	
嶺南広域行政組合	1,389	1,386	2	2	689	-	-	
福井県後期高齢者医療広域連合(普通会計)	985	874	111	111	-	-	-	
福井県後期高齢者医療広域連合(事業会計)	76,911	74,217	2,694	2,694	786	-	-	
一部事務組合等 計				4,207		14,473	352	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
おおい町土地開発公社	0	24	10	-	139	-	-	-	
名田庄バイオテック	23	52	10	26	-	-	173	87	
名田庄ウッドセンター	1	16	14	13	-	-	-	-	
グリーン大飯農業公社	5	135	40	24	-	-	-	-	
おおい町文化協会	2	107	100	5	-	-	-	-	
おおい町体育協会	1	110	100	12	-	-	-	-	
おおい	1	91	84	44	-	-	-	-	
わかさ大飯マリンワールド	1	505	285	38	1,000	-	-	-	
名田庄商会	0	36	29	11	-	-	-	-	
地方公社・第三セクター等 計			672	173	1,139	0	173	87	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄に当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	4,076	4,092	16
減債基金	1,620	1,927	307
その他充当可能基金	6,329	6,473	144
充当可能基金計	12,025	12,492	467

(注)「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	10.47	8.28	2.19	14.68	20.00	簡易水道事業特別会計	-	-	-
連結実質赤字比率	11.06	8.96	2.10	19.68	40.00	特定環境保全公共下水道事業特別会計	-	-	-
実質公債費比率	6.8	7.9	1.1	25.0	35.0	農業集落排水事業特別会計	-	-	-
将来負担比率	-	-	-	350.0					
財政力指数	1.08	1.11	0.03						
経常収支比率	76.0	78.8	2.8						

- (注) 1. 「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」、「資金不足比率」は負数(-)で表示している。
 2. 「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成20年度決算における基準である。